



「特定秘密保護法案の欺瞞を見逃すな！—11.22 市民と議員の法案阻止緊急院内集会」で発言する、東京・生活者ネットワーク都議会議員 [杉並] の小松久子

法案の衆議院通過にあたって、  
東京・生活者ネットワークは声明します

# 特定秘密保護法案の欺瞞を見逃すな！ 法案を廃案に！

特定秘密保護法案とは、国にとって重要な情報を「特定秘密」に指定し、それを取り扱う人を調査・管理し、特定秘密を外部に知らせたり、外部から知ろう

## そもそも特定秘密保護法案って？ その概要と問題点

衆議院での法案修正では、秘密指定と解除・適性評価基準を作成することとされましたが、政府の説明責任の徹底と恣意性の排除、市民の知る権利の保障に係る実質的内容は不明確極まり、法案自体の問題は何一つ変わっていません。今必要なのは、「恣意性にまみれた、治安維持法にも匹敵する特定秘密保護法案」などではなく、情報公開の確たるしくみの推進です。法案が孕んでいる本質の問題に踏み込むことなく審議が打ち切れ、強行採決に至ったことに怒りとともに、強く抗議するものです。

11月26日、安倍内閣が国会に提出した「特定秘密保護法案」が、衆議院で強行採決され、可決しました。生活者ネットワークは、参加と自治の市民政治を進めるべく発足した(1977年)市民の政治ネットワークです。市民の知る権利を保障するために、公的機関の情報公開を進めてきた立場から、本法案に一貫して反対を表明し、廃案を求めてきました。

とする人などを処罰することによつて特定秘密を守ろうとするもの。対象となり得る情報は、  
①防衛 ②外交 ③外国の利益をはかる目的の安全脅威活動防止(II スパイ活動防止) ④テロ活動防止——の4分野とされています。しかし、特定秘密は「行政機関の長」が指定できることになつており、「対象分野は無制限」となること、「何が特定秘密であるかも秘密」とされることが危惧されます。

とすると、その危険性は抽象的な概念でも杞憂でもなく政府・官僚組織の来し方から明らかです。たとえば、「核を持ち込ませず」と謳った非核三原則にもかかわらず、米国の情報公開によつて白日の下に曝された「米軍核持ち込み容認」「沖縄密約情報」などを政府・外務省は「文書不存在」と抗弁し続け、「文書破棄」に至ったものとの事態があります。さらにはテロ防止に係る原子力政策の欺瞞。そもそも原発を核の平和利用などと衆目を欺き、市民の抵抗・

市民にとって重要事項である情報自由な流通を閉ざし、知らされることも、未来永劫、自国の歴史を検証することもできないことになる危険性を孕んでいるこの法案が成立すれば、憲法で保障されている知る権利は実質意味を失い、市民主権もまた灰燼に帰すことになるでしょう。

今、この法案の成立を許すことは、政府の保有する情報には「由らしむべし知らしむべからず」の古い政府へと回帰することを容認することであり、自民一強体制のもと、国連主義と逆行する集団的自衛権解釈改憲・立法改憲への途をも許すことになりかねません。民主主義を、市民主権を殺さないために、私たちが戦後手にした平和憲法、すなわち立憲主義・国民主権・平和主義・基本的人権を侵害する安倍政権の巧妙な手口を暴き、法案成立を断固阻止しなければなりません。

原発情報の開示請求に蓋を続けてきたのは政府・経産官僚たちであり、3・11に直面してなお、巨費をつぎ込んで開発された「緊急時迅速放射能影響予測システム(II SPEEDI)」の情報隠し、適切な避難誘導を怠ったのは時の政府でした。

## 民主主義を 殺さないために 法案成立絶対阻止を！

「特定秘密保護法案」は、参議院へとところを変え審議入りをしました。良識の府とされる参議院でこそ廃案へと追い込むべく、この法案が内包する根源的な問題をこそ徹底審議されることを、生活者ネットワークは強く求めます。

# 「特定秘密保護法案」を廃案へ！ 東京・生活者ネットワークは、 市民と議員の阻止行動を進めます

--- 東京・生活者ネットワーク都議会議員 ---



世田谷区  
西崎光子  
東京・生活者ネットワーク代表委員



国分寺市・国立市  
山内れい子



杉並区  
小松久子

安倍内閣は、市民の知る権利や基本的人権を侵し、メディアから報道・表現の自由を奪い、監視国家化させる極めて危険な「特定秘密保護法案」をこの臨時国会で成立させようとしています。民主主義の危機的状況を前に生活者ネットワークは、あらゆる場・機会を使って「特定秘密保護法案」の成立阻止、絶対廃案を求めてきました。

東日本大震災復興支援問題、福島第一原発事故対応と原発再稼働問題、検察の調書ねつ造問題、普天間基地移設問題、尖閣問題、防衛予算増強・オスプレイ強行配備問題、TPP 参加問題、憲法改正問題……などに加え、拙速に浮上した「特定秘密保護法案」。主権者は市民です。この国の民主主義を殺さないために、この危険な法案を廃案に追い込むまで、ともに声をあげ、ともに進みましょう。

----- 東京・生活者ネットワークの区・市議会議員 -----

東村山市 大塚恵美子	小平市 日向美砂子	国立市 小川宏美	府中市 前田弘子	稲城市 中村美穂子	世田谷区 植田靖子	板橋区 五十嵐泰子
東大和市 実川圭子	小平市 平野弘美	国立市 前田せつ子	府中市 田村智恵美	狛江市 吉野芳子	世田谷区 高岡潤子	江戸川区 新村井玖子
福生市 阿南育子	立川市 稲橋裕美子	小金井市 田頭祐子	町田市 渡部真実	多摩市 向井佳穂理	世田谷区 照屋里美	大田区 北澤潤子
武蔵野市 西園寺美希子	西東京市 大友禾弘子	小金井市 林倫子	昭島市 大嶽貴恵	多摩市 星野菜保子	豊島区 村上典子	江東区 凶師和美
西東京市 石田裕子	国分寺市 片畑智子	昭島市 篠原有加	調布市 ドウマンジ恭子	練馬区 菊地靖枝	品川区 井上八重子	
国分寺市 岩永康代	青梅市 本多百合子	八王子市 鳴海有理	練馬区 君垣圭子	杉並区 市橋綾子		
国分寺市 高瀬かおる	清瀬市 小西美香	日野市 古池初美	練馬区 橋本恵子	杉並区 曾根文子		
小平市 岩本博子	国立市 阿部美知子	府中市 浅田多津子	目黒区 広吉敦子	世田谷区 桜井純子		



●市民のちから、女性の知恵を結集し地域から政治を変えるローカルパーティ 東京・生活者ネットワークの活動を紹介します。